

歴史に刻む伯國總選舉

官民一致で、清々一票！

明ければ、開票に沸立つ全伯



十月三日、大伯國にとつては最も重要な選舉の日であり、各候補者にとつては個人的にも大切な日である。脚が寒がつたけれども雨も降らず、絶好の投票日和と言えよう。街では投票場へ行く人々で賑はつてゐるが、流石に吉分等の代表者を選ぶ日なので、平常よりも皆眞面目な面持に見える。市内各所の投票場にはいざれも人の山、そしてその附近には各候補者のセザラのパンコが隙間もなく並んでいる。田舎村のセザラは諸々方々で二世乙女の手によつて愛想よく手渡されてゐたが、若冠相馬のセザラも見受けられたが、どうした事か希望の候補者原田の分は殆んど見受けられない。如何に主力を奥地へ注いであつたらう。

聖市では幸いにも自覺した民主國市民のせいか、別に特記はいひ乍らも少しこの方面にも注意すべきであつたらう。

並んでいた、田舎村のセザラは諸々方々で二世乙女の手によつて愛想よく手渡されていたが、若冠相馬のセザラも見受けられたが、どうした事か希望の候補者原田の

分は殆んど見受けられない。如何に主力を奥地へ注いであつたらう。

締切りの時間が過ぎ、各選挙場は嚴重に封鎖されると、餘つたセザラは街々に投げられて花吹雪の機会だつた、それが又日の暮るるに従つて、夕風が強くなり風吹くよ。にセザラは落花と舞つていた。四日正午からはジョン・メンデス廣場裏の司法省の一部お茶の水橋下の市立舞踏学校、パカエンバー体育館の五二七七七とある、大体現在までの開票は主として聖市方面が多く、未だ奥地の方は開票されないので確實なことは云えない（寫真は上段右ゼツリオ、左カフエー・フィーリ、下段右ガルセース、左サルザーノの諸氏）。

現在迄判明した所によると、何んと云つても衆議院を握つたヂエツリオが他の大統領

（五日廿四時現在）

開票結果

（註）左表の中副大統領の得票は四日廿四現在のもの

大統領

セザラ	九〇、二八九
ブリガディオ	三七、二六三
クリスチアーノ	一、一七一
マンガベイラ	六二六
アリビオ・O・ネット	一五

副大統領

（五、四七三）

（二四、四一五）

（九〇、二八九）

（一九、五四九）

（一五、〇九二）

（六二六）

州統領

（サンバウロ市）

（二四、四一五）

（九〇、二八九）

（一九、五四九）

（一五、〇九二）

（六二六）

副大統領

（カフエー・フィーリ）

（オヂロン・アラーガ）

（アルチーノ・アランテス）

（ピトリノ・フレイレ）

（アリビオ・O・ネット）

副大統領

（ガルセース）

（マボイアギ）

（エルリンード・サルザーノ）

（アタリーバ・ノゲイラ）

（ゴメス・マルチス）

（モダル・ヴェルグリ）

（ララジオ・マッシュード）

（ミゲル・レアレ）

現在迄判明した所によると、何んと云つても衆議院を握つたヂエツリオが他の大統領

（五日廿四時現在）

（註）左表の中副大統領の得票は四日廿四現在のもの

（五日廿四時現在）

（註）左表の中副大統領

